

# いわて復興だより

がんばろう！岩手 つなごろう！岩手

## 三陸復興

第 93 号

平成 27 年 10 月 1 日号

復興に向けて歩み続ける岩手県の今を紹介します

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災津波。発災以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げます、この「つながり」を大切にしていきたいと思っております。

山を見上げると、うっすらと紅葉の始まりを感じ、落ち葉の数も日を追って多くなっていく今日この頃。

復興に向けて歩み続ける岩手の今を紹介します。

## 学生向け「復興の現場見学会」が開催されました 陸前高田市

平成 27 年 9 月 7 日（月）、学生向けの復興の現場見学会（主催：岩手県）が陸前高田市で開催されました。

学生を対象とした現場見学会は初めての試みで、就職前の学生に復興事業や被災者支援活動を理解してもらうことが目的。当日は、県内から 31 人、県外から 6 人、計 37 人の学生が参加し、5 か所の現場を見学しました。

参加者は始めに、盛り土が約 10m に達した高田地区海岸防潮堤第二線堤から、復旧工事が進められている防潮堤の工事状況を見学。また、事業担当者から、高田松原海岸の白砂青松を再生する事業の説明を受けました。

次に、旧道の駅「高田松原」タピック 45 では、昨年 3 月から土砂運搬のため稼働しているベルトコンベヤー「希望のかけ橋」を見ながら土地利用の概要や、平成 32 年度に完成予定の「高田松原津波復興祈念公園」事業について説明を受けました。

気仙川災害復旧工事現場では、堤防高 12.5m、水門延長 211m の水門土木工事を見学。

災害公営住宅下和野団地では、住民の交流や相談の拠点である「市民交流プラザ」を訪れ、地域包括ケアの取組を学びました。

最後に訪れた「陸前高田市コミュニティホール」では、陸前高田市まちづくり協働センターのスタッフより地域づくりの取組について説明を受けた後、地域住民の現状や、今後のまちづくりへの質問や意見交換が行われました。

盛岡市から参加した学生は「テレビや新聞では、復興の状況の情報を目にしても実感がわかなかった。実際に現地に来て、内陸と沿岸のギャップを感じることができました。」と見学会への参加の感想を述べました。

また、同年 9 月 15 日（火）には、同市高田地区に土砂を運搬しているベルトコンベヤー「希望のかけ橋」が稼働を停止し、終了式が行われました。「希望のかけ橋」は、土砂の運搬作業の工期を大幅に短縮させ、同地区では、今年度から順次宅地が供給予定となっています。



高田地区海岸防潮堤第二線堤から現場を見学する参加者



旧道の駅「高田松原」タピック 45 からの見学の様子

## 「いわて復興インデックス報告書（第 15 回）」のデータから

沿岸被災 12 市町村を中心とした本県の復旧、復興の現状やその推移を把握するためのデータを定期的に取りまとめている「いわて復興インデックス報告書」。

今回は、第 15 回（平成 27 年 8 月 26 日公表）結果から、主なデータを紹介します。

**なりわい（産業）** 産地魚市場水揚量：95.9%（3 年平均比）  
19,980 トン  
（年度累計：平成 27 年 4 月～平成 27 年 6 月）

昨年低調であった船びき網によるイサガの水揚量が回復したことに加え、定置網によるサバ類の水揚量が大きく伸び、水揚量は震災前 3 年平均に近い水準まで回復。

**安全** まちづくり（面整備）の進捗率：16%  
完成区画数：1,285 区画  
（平成 27 年 6 月末現在）

宅地供給予定区画数 8,083 区画に対する進捗率は 16%。

詳しくは [いわて復興インデックス](#) [検索](#)

### 暮らし

災害公営住宅の進捗率：30%  
完成戸数：1,789 戸  
（県整備 692 戸、市町村整備 1,097 戸）  
（平成 27 年 6 月末現在）

\*完成戸数 平成 27 年 3 月末現在：1,525 戸（県整備 574 戸、市町村整備 951 戸）・進捗率 26%

災害公営住宅整備事業における建設予定戸数 5,876 戸（県整備 2,784 戸、市町村整備 3,092 戸）に対する進捗率は 30%。

## いわて復興応援団（員）大募集中！



首都圏等にお住まいの方を対象に、応援団員（個人）と応援団（法人及び団体）の登録を募集しています。登録者には岩手県の復興の取り組みや観光・物産・首都圏でのイベント情報などをお届けします。

詳しくは岩手県東京事務所ホームページをご覧ください。 [いわて復興応援団](#) [検索](#)

登録無料

知って、買って、食べて、行って応援！

## 三陸鉄道で地元漁師が「ワカメ」をPR

普代村・宮古市・大船渡市

平成 27 年 9 月 12 日（土）、三陸鉄道北リアス線（宮古―久慈間）で、「三陸岩手ワカメ王子列車」が運行されました。

これは、三陸産ワカメの販路回復と消費拡大を図る「日本一の三陸岩手わかめ復活キャンペーン」の一環で行われたもので、列車内では投票で人気を競う「浜のワカメ王子総選挙（主催：岩手県）」が開催されました。

列車には、県内 4 地区のワカメ生産地（普代村、宮古市田老、同市重茂、大船渡市三陸町吉浜）から選ばれた 7 人の「ワカメ王子」と、約 40 人の参加者が乗り込み、「ワカメ王子」は、自慢のワカメを PR しました。

また、ワカメをふんだんに使った特製の弁当がふるまわれ、参加者は、三陸を代表する特産品の「ワカメ」を満喫する一日になりました。



車内でワカメをPRする「ワカメ王子」

イベントが開催された列車内の様子

被災地・三陸の復興へ向け、多くの若者が情熱を注いでいます。連載「未来のさんりくびと」では、毎号、復興への熱い想いを秘めた若者を紹介していきます。

第 45 回目は、中野 圭さんを紹介します。

### PROFILE

大船渡市出身。

大学進学のため上京し、卒業後就職。

東日本大震災津波発災後、地元には何かできないかと思いき、平成 23 年 9 月に U ターン。

若者のネットワークで岩手県を盛り上げようと平成 26 年 4 月に NPO 法人 Wiz を設立し、現在は、代表理事を務める。

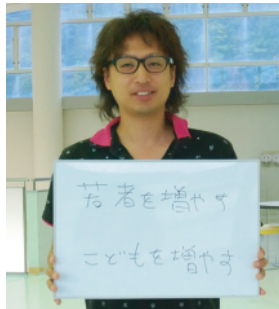
### 仲間を見つけ岩手県を盛り上げる

震災後、東京に居てできることより地元に戻ってできることの方が明らかに多いと思い、大船渡市に U ターンした中野さん。

岩手県を盛り上げたいと思った時、ひとりではなかなか踏み出せないが、仲間がいれば行動につながられるのではないかと思い、仲間を見つける仕組み作りを目的に、NPO 法人 Wiz を

## 未来の さんりく びと

NPO 法人 Wiz 代表理事  
中野 圭  
(なかの けい) さん



中野さんからのひと言：  
若者を増やす  
ことを増やす

## 大学生らがドーム型産地直売所 「ODENSE 3 号」を建設

宮古市

平成 27 年 9 月 18 日（金）、宮古市は、宮古市田老にドーム型産地直売所「ODENSE（おでんせ）3 号」を建設、寄贈した立命館大学工学部（滋賀県草津市）、大阪産業大学（大阪府大東市）、ラオス国立大学、インドネシア・イスラム大学等の学生らに感謝状を贈りました。

ドームの建設は、立命館大学工学部建築都市デザイン学科の宗本研究室による復興支援活動のひとつで、今回の活動にはインドネシアやラオスで建築を学ぶ学生も参加。東日本大震災津波の教訓と復興していく東北の姿を、自分たちの活動を通じて海外に発信することを目的としています。

学生らは、同年 9 月 7 日（月）から同市田老地区に入り、自炊や掃除など生活を共にしながら建設作業を行ってきました。「ODENSE 3 号」は、来春から販売を開始する予定で、地域活性に期待が寄せられています。



活動に参加した学生たち

立ち上げました。

行動を起こすためのセミナーや研修会等を実施すると同時に、交流会を開催し、若者のネットワークを広げています。

### 若者の活力が復興に

中野さんが立ち上げたクラウドファンディングサイト「いしわり」は、若者の想いを具体化するためインターネット上で不特定多数の人から寄付を集め、それを原資とした活動支援をしていくものです。

また、企業と若者をマッチングさせる実践型インターンシップにも力を入れている中野さんは、「岩手県が元気であるかどうかは、その地域に若い人や子どもが多いかどうかだと思っています。中学生、高校生がこの先大人なって一度は県外に出たとしても、岩手県に帰ってこようと思うきっかけを作り、帰ってきた時に仲間に出会える環境が地域の活力となり、結果として、復興につながっていくと思っています。」と活動への意気込みを語りました。

### 岩手県の被害状況

平成 27 年 8 月 31 日現在

- ▶ 人的被害 死者（直接死）：4,672 人 行方不明者：1,129 人
- ▶ 建物被害（住家のみ、全半壊） 26,164 棟

被害状況等の詳細

義援金・寄付金の募集等

[いわて防災情報ポータル](#)

[検索](#)

### 皆様のご支援、ありがとうございます

平成 27 年 8 月 31 日現在

- ▶ 義援金受付状況 約 184 億 31 万円 (91,932 件)
- ▶ 寄付金受付状況 約 196 億 8,777 万円 (7,429 件)
- ▶ いわての学び希望基金（※）受付状況 約 76 億 8,855 万円 (16,125 件)

※ 被災した子どもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。

ビジュアル豊富な【いわて復興だより [Web](#)】もご覧ください!!

<http://iwate-fukkoudayori.com>

いわて復興だより 第 93 号 平成 27 年 10 月 1 日号 企画・発行：岩手県復興局復興推進課 ☎ 019-629-6925

いわて復興だよりバックナンバーは

[いわて復興だより](#)

[検索](#)

編集・印刷：シナプス

【次回のいわて復興だよりについて】次回は 10 月 15 日号の発行を予定しています。